

りんごの森

2022

11

No.484

Follow me!



Instagram
はじめました!!

特集1 ビギナーは救世主?!

労働力不足解消への道
～リンゴ園の風景を守る鍵～

特集2

補助労働力 生の声

「ゴギナーは救世主?!」

労働力不足解消への道

リンゴ園の風景を守る鍵



実りの秋。岩木山の紅葉とともに、たわわに実ったリンゴ畑の風景は、市町村別生産量ナンバーワンの名にふさわしく、どこまでも広がっていて美しい。

しかし、農業を取り巻く環境は、高齢化や補助労働力不足を背景に栽培面積の減少も軽視できない状況となってきた。飛馬ブランドと、この風景を我々産地が守っていく上で、労働力不足解消に向けた取り組みは急務である。

今回は、当JAが取り組んだ、本年の補助労働力確保対策について特集する。



有力

1日農業バイトアプリ

【day work】(有償)

昨年10月から弘前市が県内初動となったデイワーク。弘前市内のマッチング件数はなんと1,519件(本年9月末時点)！そのマッチング率は80%と非常に高い水準となっている。

デイワークの最大の特徴として、求人者と求職者を1日単位で結び付けることが挙げられる。これまでは数週間単位で連続した雇用が当たり前であったが、地域に住む方々が自分の休日を利用して手伝ってくれるようになってくるほか、本業を持つている方々さえも、副業として

農業を手伝っている状況が伺える。

さらに、求職者登録に今まで参入が少なかった20代や大学生が多く利用している点も、大きな特徴の1つ。スマートフォン普及により、アプリで仕事探しを完結させる時代へ突入していることが、背景として伺える。

一方、求人者は求職者と直接やり取りができることでタイムラグなしにマッチングを図ることが出来るようになった。雇用契約書の問題はありますが、急募であっても、数時間でマッチングした実績があるなど非常に魅力的なアプリだ。また、1回のマッチングにより、

同じ人が継続的に応募してくれた実績も見えている。

現在に至るまで、求人側については作業経験者を求める声が多かったのも事実。求職者における作業経験者が非常に少ない中で、初心者の育成を図りながら雇用を進める求職者が増え始めているのが現状だ。求職者の新たな探し方、初心者育成など、受け入れる側の対応を多様化させることで、労働力不足解消に向かうはずだ。デイワークは、求人者数よりも求職者で溢れているのだから。



農福連携事業 (有償)

障がい者就業の拡大と、農業の労働力確保を目的に、県が主体となり進めている農福連携事業。本年は、相馬地区で計5回、15日間に渡って事業を展開した。

桐の木沢地区の株式会社シャンティは、独自で2年前からリンゴ

県主催の現地検討会にて、園主への感謝を伝える『さくらの杜』取締役の相澤直人さん



作業に障がい者の受入れを実施。従事している福祉事業所『さくらの杜』は、個人のペースに合わせながら根気よく作業について教えてきたことや、弘前の基幹産業であるリンゴ作業のスキルを身に着ければ、いくらでも仕事ができると話す。実際、その作業の様子は丁寧かつスピーディーで、頼れる戦力となっていることが伺い知れた。また実際に2名リンゴ園に就労することができたことを話し、作業を体得した利用者にぜひ来てほしいという農家の要望に人手が追いつかないほど好評だそう！

皆さんも、障がい者のことも考えながら、雇用を受入れてみませんか？

JAL「空飛ぶ農業応援活動」 (有償)

JAL767運航乗務部の方々が、減便によりできた時間を活用して、リンゴ作業の人手不足解消を図ろうと、一昨年から農業応援活動を実施。現在では運航便数がほぼ回復しているが、業務の合間を縫って、引き続き青森へ援農活動に訪れてくれている。パイロットらは様々なリンゴ作業を手伝い、受入れ農家が大絶賛している。また、私たち産地にとっては、通常生活しているだけでは知りえない業界や旅先の話も聞けることも魅力だ。毎年10月頃から活動を実施しており、一人でも多くの方に受入れしていただきたい活動のひとつだ。

JAL「空飛ぶ学生ボランティア」 大学生グリーンシップ(無償)

ツアーなどの企画をするJAL地域事業部が首都圏の学生に収穫体験などを手伝ってもらうことで、都市と地域を定期的に行き来する仕組みを作ることとしている。JA青森中央会を筆頭に、県内では当JAが本年、初めて受け入れた。今回は6名の大学生が相馬地区を訪

れ、リンゴ作業の様子だけでなく、山々の紅葉や津軽の郷土料理「いがめんち」などをSNSに投稿し、地域の情報発信にも取り組んでいただいた。

大学生ボランティア、SNSの投稿に「私も行きたい!」との反応もあったそう



今年も試験的に取り組みを開始したものの、受け入れ農家からも好評だったことから今後も継続していく見込みだ。

企業援農ボランティア(無償)

地元企業及び団体の方が、休日を利用して援農ボランティアを実施。当JAにおいては毎年11月上旬に受入しており、収穫時期に単発的な援農をして頂いている。援農人数は毎年40人前後と多く、無償とはいえっても農家は袋いっぱい詰めたリンゴで御礼にあたっている。

「昨年もらったリンゴが人生で一番美味しくて、今回は関東に住む妻も一緒に手伝いに来たんですよ」

と笑顔で収穫作業をするご夫婦もいた。

皆さんもぜひ、企業援農者を受入れてみませんか？



本年、補助労働力確保事業を通して一番感銘を受けたのは、一度援農で訪れた方が休みなどを利用して、個別に園地に来られるなど、関係が継続していることです。相馬の農家さんのあたたかさが、一番の地域おこしになっていると感じました。当JA農業振興課で、いつでも受入れ希望承ります。ぜひ援農事業受入れをしてみてください！次頁では事業に携わる方の生の声をお伝えします。



社内でも近所でも自然と出るようにリンゴの話が

小山 浩司
日本航空株式会社運航本部
767運航乗務部 副操縦士

きました。去年の春から、援農活動が地方創生やSDGs（住み続けられるまちづくりを）陸の豊かさを守る（こ）と親和性があるとして、業務の都合はあるにしても、活動はより進めやすくなりました」

「都心ではリンゴは赤！というイメージがまだあって、トキや名

月は遠慮がちに店頭にならんでいます。それでも

割と普通のスーパーでも売ることができて

て、『あそこのスーパーにトキが売ってたよ』

と近所の方が教えてくれることもしばしば。そんな会

話が増えてきたのも、本場青森のリンゴを周囲の方に毎年お裾分け

しているからだと思います。自然と普及活動になっているのかな」

桐の木沢地区に本社を構える株式会社シャンティは、リンゴ作業

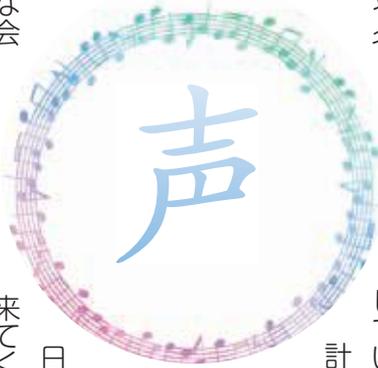
所に『さくらの杜』から就労者を受

前頁で紹介した補助労働力確保の事業から、JAL『空飛ぶ農業応援団』の小山浩司さんと、農福連携事業の宇野訓さんに、生の声を伺った。

岩木山の紅葉に感動

JAL操縦士による援農活動は、今年で3年目を迎えた。発起人である小山さんに、この3年で何が変わったか聞いてみた。

「私たちB767型機の運航乗務員の中では、大分認知度が上がって



け入れている。同社営業部の宇野さんに話を伺った。

「まだ当時は農福連携という言葉も知りませんでした。2020

年6月から受入れを始めました。きっかけは、弘前市りんご公園で

福社事業所の方による袋かけ体験が行われるという情報を、JAから

聞き参加したことです。受入れを

して一番良かったことは、計画的にりんご作業ができて

いること。以前はどうしても遅れがちになっ

ていて、雪が降る前に慌ててもぐことが

多かったです。毎日6〜7名が作業をしに

来てくれるので、驚くほど進捗が見えて助かっています。

作業日には、福社事業所の職員の方が必ず帯同して

きてくれるので、労災面や教育面はもちろん、個々のペー

スの違いに関しても、今まで困ったことはありません」

今後、福社事業所利用者のやり甲斐や生き甲斐の創

出と、農業の人手不足解消が進んでいくことを期待したい。

農業初心者を受入れる負担や不安はあるかも知れないが、受入れ

した側・された側の1人1人に話を聞くと、それ以上のメリットがあると感じた。

これから先、私たち産地全体でリンゴ作業ビギナーを受け入れ、

その実力の底上げと、絆作りに励んでいくことで、地域農業の道は

開けて行くにちがいない。

宇野 訓
株式会社シャンティ営業部
(精神保健福祉士)



驚くほど作業が進んで助かっている



●予想を上回る売れ行きとなり、販売開始から約2時間で完売

飛ぶよう 飛馬

に売れた りんご

10/29.30



in 大阪国際空港(伊丹)

JAL767運航乗員部らによる、青森のりんご農家を舞台とした“空飛ぶ農業応援活動”をきっかけに、JA相馬村産のりんごが伊丹で販売された。援農活動は、本年もJA青森中央会を筆頭に県内各JAで受け入れた。

「シヤキシヤキ感」のある
美味しいりんごが食べたい!

10月29日から2日間に渡り、大阪国際空港(伊丹)において「ITAMI空の市」が開催された。(株)シエア(Ｊ-Ａ-Ｒ)、関西エアポート(株)主催。当日は、全国各地の就航地から空輸で届いた海産物や青果、特産物などが豊富に並び、青森県からはJA相馬村産の「飛馬りんご」が出品された。また、飛馬りんごは「空の市」にちなんで「空飛ぶりんご」とネーミングされ、特選28玉のトキ

おいらせ(2P/600円)を約100セット販売。当日は、開店前から長蛇の列となり、たくさんのお客様で賑わいを見せた。尚、飛馬りんごは販売開始約2時間で1番乗りの完売を果たした。

りんご生産量日本一を誇る青森県。味も見た目も群を抜く中で、今回、「トキ」については甘味、「おいらせ」については蜜入りを売りに消費宣伝した。両者ともに、中生種の中でも特徴のある品種だが、玉の大きさや色味、そして香りも大人気だった。一方、消費者からは「シヤキシヤキ

感」のある鮮度抜群の品物を求める声が多かったのも事実。りんごは年間を通して最寄りのスーパーなどで手軽に購入可能な現在、収穫遅れによる果実の軟質化を防ぐことは、産地として守っていききたいところだ。今後「産地本来の味」を届けていくことが非常に重要であることを再認識することが出来た。

当JAは、今後も「飛馬りんご」を全国各地に最高の形でお届けし、りんご農家の更なる所得向上に向けて全力でサポートして参ります。



▲「空飛ぶりんご」としてネーミングされたJA相馬村の「飛馬りんご」!



▶販売に携わったJAの客室乗務員ら



▲2日間に渡って開催された「第8回ITAMI空の市」では、全国各地の就航地から特産品が集まった

▼最後まで行列が途切れなかった



新型コロナだけではなくて生活習慣病の予防も！

弘前市では、生活習慣病の重症化を予防するため、国民健康保険に加入している40～74歳の方を対象とした特定健診、後期高齢者医療制度加入者を対象とした後期高齢者健診を実施しています。

これらの健診は年に1回だけ無料で受けられます。

現在流行している新型コロナウイルスに感染した場合、高血圧、糖尿病などの生活習慣病があると、重症化するリスクが高いと言われています。

自分では気づきにくい生活習慣病を早期に発見し、適切な治療を継続することで、いち早く身体を守る行動をとりましょう。

～健診の受け方～

① 受信に必要なものを確認する

- ・国保加入者の方…**国民健康保険被保険者証、特定健診受診券**

受診券を紛失した場合は**国保年金課**(TEL 35-1116)までご連絡ください。再交付できます。

- ・後期高齢者の方…**後期高齢者医療被保険者証、健康診査受診券**

受診券を紛失した場合は**国保年金課**(TEL 40-7046)までご連絡ください。再交付できます。

② 予約する

医療機関に直接お申込みください。

健診を実施している医療機関は「令和4年度健康と福祉ごよみ」や弘前市のホームページで確認できます。

③ 受信する

身体計測・血液検査・尿検査・血圧・問診など 1時間程度で終わります。

④ 結果を受け取る

健診は受けた後が肝心です。必ず健診結果を確認しましょう。

【健診実施期間は令和5年3月15日までです。】

受診の際は、新型コロナウイルスを含む感染症対策のご協力をお願いします。

担当：弘前市 健康子ども部国保年金課 TEL **0172-35-1136** (直通)

果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



10月の果実動向は、数量増の下
げ基調となりました。

柿

柿については和歌山県産の入荷
がピークを迎え、安定的で順調な
入荷となり、価格を下げて特売等
の拡販が行われたことにより、売
場の拡大が図られたものの、末端
消費が鈍く、価格は下げ基調とな
りました。

ミカン

ミカンについては極早生品種の
入荷が始まり、九州産の安定した
入荷と和歌山県産の入荷が増加し
たことにより、価格は下げ基調と
なりました。

リンゴ

リンゴについては、長野県産の
秋映、シナノスイートが遅れ気味
での入荷となり、販売企画が多く
ないことから価格は下げ基調とな

りました。本県産の早生ふじは総
体量が多くないことから、36・40
玉については企画が多いため、引
き合いが強くなり安定した価格推移と
なりました。

一方で、入荷比率の高い大玉果
については弱含みの推移
となりました。トキに関
しては、台湾・香港向け
の輸出が多いため、国内
では流通量が少なく、企
画の少なさから、40玉以
下を中心に荷動きは鈍く、
下げ基調となりました。

今後、量販店では新型
コロナウイルスにより実
施できていなかった試食
宣伝等が解禁されたこと
から、売場拡大が進み、
早生ふじの販売企画も安
定して組まれていること
から、36玉を中心におお
むね保合での推移が見込
まれます。また、長野県



スピーディーに進む荷受け作業もそろそろ終盤

産のシナノゴールド等の出回りに
より、トキについては売場縮小に
より、引合いの弱さから価格は下
げ基調の推移が予想されます。
今年も春節が早いことから、輸
出のピークと国内の贈答需要期が
重なる年となります。11月中盤か
ら選果荷造り作業は輸出と贈答
の両方に対応できるよう、バラ
ンスの良い計画的なスケジュールを
組み、有利販売に取り組みます。

J A全農あおもりデータ (10月末累計)

品 種	サンつがる	早生ふじ	ト キ	きおう	その他	合 計
単 価 (円)	2,480	3,208	2,941	2,653	2,936	2,708
前 年 比 (%)	91	89	87	112	103	90
出荷数量 (箱/10kg)	878,747	294,828	126,597	156,133	63,169	1,519,474
前 年 比 (%)	104	75	87	112	108	96

topics

人追従型
運搬ロボット実演会

01

10月4・5日、弘前市りんご課主催で農作業追従型ロボット制作会社2社による実演会が開催された。輝翠TECH社製はA-搭載で、画像認識によって走行しやすい路面を選び、園地の地図を把握。追従だけでなく選果場まで単独走行が可能であるが、今後天候面などの課題をクリアする改良版を制作予定だ。

アイ・イート社製は、センサー運転のため完全追従型。小雨の使用も可能だが、積載面積を改良し次第、販売も視野に入れている。農作業の省力化に役立つ技術の発展を期待したい。



注目を集める追従型ロボット
(輝翠TECH社製)

topics

「回転寿司みたい!」

02

10月6日、相馬小学校2年生が、当JA販売課を訪れ、フルーツステーションを見学した。

児童5名は素早く動く選果場の機械を興味深そうに見つめ、バーコード式フリートレイに載って運ばれるリンゴを見ると「すごく早い」「回転寿司みたい!」と目を輝かせながら、終始集中して田中瑠偉さんの説明を聞いていた。

地元で育った最高の飛馬リンゴが、この場所から鮮度重視で出荷され、全国のお客様を笑顔にしている。今回の見学で、それが少しでも伝われば幸いだ。



リンゴ作業の機械に見入る児童ら

topics

共防連立木審査

03

10月24日、中南地域県民局農林水産部農業普及振興室と農業振興課は、管内全33箇所園地での立木審査を実施。品種はふじや王林で、肥大・着色・収量・病害虫・管理の5つの項目で、本年産の出来栄を確認しながら審査した。

本年産は、夏の豪雨の影響から、輪紋病や炭疽病、褐斑病が一部で見られたが、審査対象の園地ではおおむね良好な生育であった。同局白川真美子指導員は「技術の高い相馬の中でも、共防連代表で出展された生産者方の園地は見事です」と話していた。



感心しながら審査にあたる
中南地域県民局 白川指導員(中央左)

topics

高密植わい化
長野県視察

04

10月27・28日にリンゴ高密植わい化栽培先進地視察研修が長野県で開催され、リンゴ生産者の成田敦郎さんと当JA齋藤指導員が参加した。

定植7年目の園地では壁一面のように32玉前後のリンゴが成っており、反収は8トン超。密植効果を活かして苗木は50cmピッチで定植され、肥大よりも収量重視との説明だったが、肥大も十分な状況であった。

今後も振興課では、先進地の情報を取得する一方、管内の実情に合わせた栽培方法を模索し、生産量維持を目指していく。



将来を見据えながら
最先端技術を学ぶ成田さん(左)

収穫の喜びを体感！

05

5月初旬から溝江友貴さんの園地で、相馬小学校の3年生23名が当JA女性部や保護者ら協力のもとに取り組んできた『りんご学習』。最後の収穫作業が10月31日に実施された。

最初に農業振興課齊藤指導員より、リンゴはツルがついたまま収穫できるよう指を添えてもぐり、土のついた手で触らないことなどの説明を聞いた後、児童らは自分の絵入りリンゴを収穫。シールを剥がすと、あちこちで歓声が上がリ、保護者をはじめ大人まで嬉しい気持ちになった。

その後、女性部副部長の中嶋美保子さんが用意した名月・シナノスイート・シナノゴールドの食べ比べを行うと、児童らは「味が全然違う！」「このリンゴが好き！」などと感想を言い合いながら、このあと給食が食べられるのかと心配になるほど、次々と面白いように食べていた。

授粉・実すべり・袋掛け・葉取り・袋掛け・収穫と、全6回の学

習を通して好天に恵まれた令和4年度の『りんご学習』は大成功。食物を作ることの大切さと、地元の基幹産業への理解を深めることができた。

今後児童らは、体験したことや調べたことを元に、作文と壁新聞を作成する予定。



相馬のリンゴは格別においしいね！



3年生の児童23名、一年間リンゴ作業がんばりました！ 10年後、新規就農のご相談お待ちしております♪

農協青年部「もち米」 予約販売のお知らせ

毎年たくさんのお客様にお買い上げいただきありがとうございます。
今年も農協青年部のもち米収穫も無事終わることが出来ました。

予約販売を行います。受付は、11月28日(月)までに

農業振興課、佐々木 までご連絡くださるようお願いいたします。

※12月1日(木)からは、直売所「林檎の森」にて通常販売致します。



〈料金〉 予約：1 kg **400円**

【お問い合わせ先】

相馬村農協青年部事務局
農業振興課 佐々木

☎ **0172-84-3215**

所員 小山内一翔



いつも湯〇SSをご利用いただき誠にありがとうございます。組合員の皆様、平素、携行缶へのガソリンの販売記録にご協力いただきありがとうございます。

12月のイベント

● JASSの日

毎月第2金曜日は、JASSの日キャンペーンを行っております。2000円以上の給油した方が対象で、12月9日(金)の景品はキッチンバラエティ3点セットです。お客様のご来店を心よりお待ちしております。

JASSの日 次回景品は「シー」

令和4年
12月9日(金)

ライオン
キッチンバラエティ **3点セット**

● あったか灯油キャンペーン

11月からあったか灯油キャンペーンが行われております。キャンペーン期間中、灯油を100ℓ以上ご購入された方と、JASSでホームタンクをご購入された方が対象です。抽選でギフトカード2万円分や青森・秋田の名産品が当たりますので、沢山のご応募お待ちしております。

これからも湯〇SSのご利用をスタッフ一同お待ちしております。

あったか灯油キャンペーンQR

あったか灯油キャンペーンQR



12月 イベント情報

JA^{SS}

日	月	火	水	木	金	土
				1 特売日	2	3
4	5	6 ポイント 3倍	7	8 特売日	9 JASSの日	10 灯油の日
11	12	13 ポイント 3倍	14	15 特売日	16	17
18	19	20 ポイント3倍 灯油の日	21	22 特売日	23	24
25	26	27 ポイント 3倍	28	29 特売日	30 灯油の日	31

お知らせ

- **セルフ洗車**
700円以上で燃料2円引きレシート!
- 10・20・30日は灯油の日。店頭で購入すると2円お得です。配達ですとサービスになりませんので、灯油の日はぜひご来店下さい。

※都合により特売日が変更になることもあります。

会員ポイントを貯めて景品をGET!

会員の方は、ハイオク/レギュラー/軽油/灯油1ℓに付き1ポイント貯まります! 300ポイント貯めて以下の景品と交換できます。

- 箱ティッシュ
- トイレトペーパー
- 林檎の森商品券

直売所「林檎の森」

所員 児玉広樹



いつも直売所「林檎の森」をご利用頂きありがとうございます。

現在、直売所では毎年大人気の嶽地区産赤かぶが入荷されています。食感が良く、漬物やサラダにするなどいろいろな用途があり、値段も5キロで700円前後と大変お買い得となっています。その他にも、色鮮やかな食用菊や菊いも、里いも、白菜、キャベツなども大変お買い得な値段で入荷されています。

果実に関しては柿、洋梨、リンゴなどが並んでいます。特にリンゴは最盛期を迎え、サンふじや王林、シナノゴールド、星の金貨などの晩生種が溢れんばかりに並んでいます。

今年も旅行支援の効果もあってか県外からリンゴを求め来店されるお客様も多く、連日賑わいを見せています。



昨年の「りんご祭り」朝の行列の様子

い開催となりましたが、初日から大変賑わいをみせています。サンふじや王林、シナノゴールドなどを中心に金星、むつ、名月など家庭から贈答用まで幅広く取り揃えておりますので、お歳暮などにもいかがでしょうか？

「りんご祭り」は12月4日まで開催いたしますので、たくさんのご来場お待ちしております。



たくさん並んだ柿はこの時期ならではの



健康意識の高い方にもオススメな菊いも



品種様々よりどり揃うこの時期のリンゴ



毎年大人気の赤かぶ！ 漬物やサラダにどうぞ

おいしいものを
ありがとう
加工
カミ



佐藤 一郎さん

裕子さん

裕子さんは平日ランチ営業の『お食事処ミカミ』で料理する傍ら、加工品を作っている。材料にはご主人の一郎さんが山で採った山菜やきのこも使う。
その他ナンバ味噌、ナンバ漬、きのこナンバ漬、ピーマン昆布、ホッケ漬けなどを出荷する。



ルポ



農業振興課
石田有希子

「今思えば料理作りが好きなのは、父方のおじいさんの影響かもしれない。お漬物を作る人で、本も出したの」

これが形見、と『津軽・南部ふるさとの漬物 著／栗林操』を手に取り話してくれたのは、旬の素材を使った料理が自慢の食堂『お食事処ミカミ』で腕を振るつ佐藤裕子さん。

裕子さんは、高校を卒業して20歳で嫁ぐまで、青森市のヤクルトスイミングスクールでコーチを務め、本県開催のあすなろ国体（昭和52年）で7位になったほどの選手。その後も50歳まで現役で泳いでいたという。「小さい頃体が弱くてね。それで絶対反対されるから、親に内緒で水泳はじめたの。道具は友達の家に置いてもらって。でも記録が良くて、4年生の頃に大会に出ることになってバシってしまっ

てからは応援してくれたよ」

旧相馬村に嫁いできた時は、おじいさんとおばあさんが商店と民宿も営業していたと言っ

「その頃に調理師免許をとったんだよね。生鮮も扱っていたから、おじいさんが亡くなってからは私も仕入れに行っていた」
30年ほど作り続けている加工品は、ずっと商店でのみ売っていたが、17年前からは直売所にも出荷するようになったそう。

「夏はキュウリに付けるからナンバ味噌が売れていたけど、今の季節は麴の入った醤油味のナンバ漬けが売れ筋商品。お客様は自分で好みのきのこや菊に和えたり、豆腐やご飯にかけたりにしているのでは」と教えてくれた。

2月中旬から4月まで、ニンシやホッケを捌いて干すのは一郎さん。地域の冬の風物詩だ。ちなみに一郎さんも水泳選手であり、前述の国体で6位入賞の実力者である。

地域に愛される味。これからもご夫婦で作り続けてほしい。



農協の役員室。放送局とオンベと油売りが居る。今日はマムシが来ていない。二日酔いで、寝ているじし。

オンベが苗字のルーツなるものを語っている。

オンベ「いいか。本県の苗字に北前船系と陸路北進系があるんだ」

油売り「北前船？ 舟乗り？」

オンベ「いや、船乗りではなく、北前船という船に乗って、瀬戸内海—山口県—島根県—越前—石川—新潟—鱒ヶ沢—十三—青森—野辺地という海運の定期便のことよ」

放送局「それが本県の苗字と？

……」

オンベ「いいか。大坂、小寺、兵庫、岡山、広島、山口、浜田、松江、小倉、石川、金沢、能登谷、越後谷、長尾—など」

油売り「三上とか宮川などは？」

オンベ「ん。ルーツは滋賀県だ。

奈良は文字の通りだし、竹内、当麻（たいま。鶴田町に多い）も奈良だ」

放送局「陸路北進系とは？」

オンベ「武田、笹森、千葉、熊谷（くまがい）、沼田、渋川、小山などは関東系だ」

油売り「会津、福島、宮城（みやぎ）などは文字の通りか」

放送局「西郡の稲垣村などに、山がないのに谷のつく苗字…例えば越後谷、能登谷、台丸谷、菊谷、扇谷（あおぎ）などが多いなあ—」

オンベ「あれは、明治八年の『苗字必称令』が出たとき（それまでは平民に苗字が無かった）屋号を苗字にすべからず、というので屋を谷にしたのだぞうだ。社会党の衆議院議員だった淡谷悠蔵氏の生家は『淡路屋（あわじ屋）』だったぞうだ」

心豊かな人は
自慢せず

義信

編集部をつぶやき～編集後記～

すっかり寒くなり、ストーブから離れられない季節になりましたね。
この時期になるといつも「年賀状用の家族写真がない！」と慌てて家族4人で突然公園などに遊びに行き、写真を撮るのが恒例なのですが、果たして今年はどうするか。
また、毎月楽しみながらもバタバタで作っている広報誌も、今回で7冊目となりました。自分の仕事が形になって、多くの方に見てもらえることのありがたさを毎月感じています。最近では Instagram という SNS の更新も日課になったので、いつも一段レフカメラとスマホを交互に構えて写真と動画を撮影する日々。気が付けば私のスマホの中は、リンゴ関連の動画か子どもが自撮りした変顔ばかり。どれも年賀状には使えないなあ。
こりゃ今年も幸せ家族風の写真、唐突に撮りに行くしかない！と決意した11月末なのでした。
疲れの出る収穫後半戦です。みなさま安全には充分注意してくださいね。 yuki

理事会だより

10月20日(木)

- 1) 9月末残高試算表について
- 2) 組合員名義変更及び脱退について
- 3) 令和5年用春肥料・りんご袋取扱要領について
- 4) 直売所りんご祭り開催要領について
- 5) JAネットバンク利用規定の一部改正について
- 6) 不良債権四半期報告
- 7) 貸付関係について
- 8) りんご販売関係について
- 9) 固定資産取得について
- 10) 津軽地区JA協議会設立について(再不義)

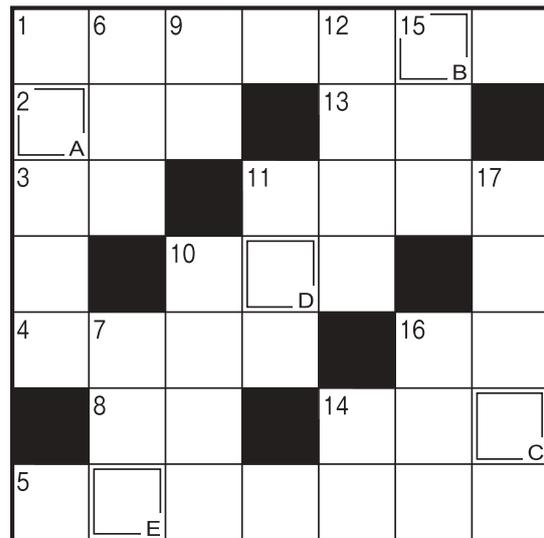
パズル? 頭の体操

Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

出題●ニコリ

ヨコのカギ

- 1 日本のクリスマスパーティーでよく食べられる鶏肉料理
- 2 フランスやイタリアなどの通貨単位
- 3 旅先で泊まります
- 4 バットが出せず——の三振!
- 5 カーナビは「カー——システム」の略
- 8 年末、年の瀬ともいいます
- 10 物が汚れたり傷んだりすること
- 11 これから起こることを予測します
- 13 葦(アシ)の別名
- 14 イエス・キリストの母です
- 16 陸・海・——



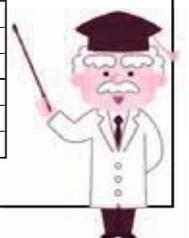
答えは広報「りんごの森12月号」にて掲載いたします。

タテのカギ

- 1 年末年始の学校に行かない期間
- 6 牛の脂はヘット、豚の脂は
- 7 げっぶのこと。——にも出さない
- 9 赤・青・黄・緑など
- 10 ポニーテールをすると襟足にちょろり
- 11 美川憲一のヒット曲『——座の女』
- 12 豚の形をした——箱
- 14 今年の来客数は去年の3割——だ
- 15 珍しい書物のこと
- 16 いろいろと考えあぐねて悩むこと
- 17 良い考え。——が浮かんだ

7	3	2	5	④	8	6	9	1
4	9	5	7	6	1	3	8	2
6	1	8	2	9	3	5	7	4
8	7	4	3	1	5	9	2	6
3	5	1	6	2	9	7	4	8
2	6	9	4	8	7	1	5	3
5	4	6	9	3	2	8	1	7
1	2	7	8	5	6	4	3	9
⑨	8	3	1	7	4	2	6	5

9月号の答え 13



表紙物語

今月の表紙は、2017年から3年間、相馬地区で地域おこし協力隊を務めた鹿内（旧姓）あかりさんと、岩木地区で同協力隊だった鎌田祥史さん。2人は昨年結婚し、現在は地区外に居住している。甘く瑞々しい飛馬リンゴのように愛を実らせたのである。

撮影は10月10日。弘前市役所企画課主催の相馬地区地域おこし協力隊お試し体験ツアーにて、坂市の嶋口千速さん園地でリンゴ収穫体験を行った時のもの。祥史さんはこのツアーのコーディネーターを務め、あかりさんはOGとして相馬の魅力を伝えた。

また首都圏などから来た参加者3名は、同OGの佐野りささん夫妻が営む『オハナ・シエアハウス』に宿泊。当JAでは三上隆基専務と山内耕平センター長がフルーツステーションを案内し、三上拓哉指導員が収穫作業の指導を務めた。募集中の協力隊は、定員2名で今月末が応募締め切り。令和5年5月の着任を予定している。

当JAは引き続き、農を中心に関係人口増を目指し地域に貢献していく。



地域の方々が集まった成岩商店での懇親会



山内センター長の案内による選果場視察



相馬総合支所職員による星とリンゴの飾り&お土産



三上指導員による収穫指導



ヤッケで写真を撮る協力隊OGの広報担当石田

JA相馬村広報

りんごの森

2022.11 Vol.484

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2022年10月15日

JA 相馬村概況

〈令和4年10月末日現在〉

組合員数	856人
（うち准組合員数	373人）
出資金	610,235千円
貯金額	10,025,510千円
共済保有高	3,081,993万円